

このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数200文字以内。写真は、1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、市広報係までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月10日
 ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
 ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
 伊佐市大口里1888番地
 総務課広報係(大口庁舎)
 「和みのひろば」係
 ☎ 1311
 ☎ 1116・1117
 ✉ koho@city.isa.lg.jp



nagomi no hiroba

食事のあと横になってる私に娘が、「豚になるよ」と一言。痩せた娘に言われ少し傷つきながらも、豚か？牛じゃなかったか？。便利なものでネットで調べると、「ほらっ牛でしょう。」しかも、太るといったり行儀が悪いということらしいし、消化にはいいらしい。これからは堂々と体のため横になってると娘に教えよう。「私の娘だからね、あなたも太る遺伝子もってる

年を重ねれば、昔話に花が咲きます。昔、大口市に「伸び行く伊佐」という映画がありました。太田産婆さんが人力車に乗って走る姿や、丸屋の横にあった薬局のご主人が出てきたり、曾木小の庭で何か集まりがあったあとの宴会の様子など…。友人たちが、「あたいどま、喜楽館で何度も見たど、あんフィルムはどっか残っておらんどうかい」と話はずみしました。
 (大口 故郷大好き会 90代)

「故郷大好き会」さん、恥ずかしがりやのお仲間の中で、代表してお便りありがとうございました。昭和20年代のお話など楽しく拝見しました。今度はお友達からの投稿もお待ちしています。



イブシロンロケット打上げを見学しました。発射時の大音響、それに負けない見学者の大歓声に感動でした。
 (菱刈 ロケットマニア 40代)

んだから」
 (大口 フルハウス 40代)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H25. 9. 1 現在 (前月比)

総人口	28,836人	(- 36)
男	13,337人	(- 24)
女	15,499人	(- 12)
世帯数	14,147世帯	(- 27)

ちなみに私の弟2人も消防団員です。火災予防週間にサイレン鳴らしてアナウンスしたり、行方不明者の捜索にでたり、火災が起きれば何時であっても出動する「責務」を伴います。しかしその分、弟たちをみてみると、苦楽を共にしたかけがえのない「仲間」に出会えたようです。今のところ、女性団員はいませんが、近い将来女性の活躍もみられるかもしれません。私も制服の似合う体形づくりに励むことにしましょう。



編集後記

伊佐市消防団では、仲間を募集しています。消防署と協力して、消火・予防活動をする「消防団」は、地域防災力の要です。「自らの地域は、自らで守る」という精神に基づき、普段はそれぞれの仕事を持ちながら、災害が起きたとき地域を守る活動に従事する人達で、「皆さんの隣人」によって組織されています。